

漢字に親しもう3 大阿蘇 蓬萊の玉の枝「竹取物語」から
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

娘	籠	冒	筒	丘	噴	煙	駐	媒	陪	挿	肯	還	摩	披	酵
むすめ	(ロウ) かご こーもる	ボウ おかーす	トウ つつ	キユウ おか	フン ふーく	エン けむーる けむり けむーい	チュウ	バイ	バイ	ソウ さーす	コウ	カン	マ	ヒ	コウ
娘	籠	冒	筒	丘	噴	煙	駐	媒	陪	挿	肯	還	摩	披	酵
娘	籠	冒	筒	丘	噴	煙	駐	媒	陪	挿	肯	還	摩	披	酵
く	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	く	フ	一	ノ	ノ	ノ	一	一
⑬ 一人前の娘になる (むすめ)	⑮ 買い物籠 (かご)	⑭ 手紙の冒頭 (ぼうとう)	⑬ 竹の筒の花入れ (つつ)	⑫ 丘の頂上 (おか)	⑪ 阿蘇山の噴煙 (ふんえん)	⑩ 細く白い煙 (けむり)	⑨ 広い駐車場 (ちゅうしゃ)	⑧ 情報媒体の発達 (ばいたい)	⑦ 陪審制度 (ばいしん)	⑥ イラストを挿入する (そうにゆう)	⑤ 肯定的な意見 (こうてい)	④ 学びを社会に還元する (かんげん)	③ 摩擦を少なくする (まさつ)	② ダンスを披露する (ひろう)	① 発酵食品 (はっこう)

漢字に親しもう3 大阿蘇 蓬萊の玉の枝「竹取物語」から
その他の教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましよう。

①大豆から 納豆 を作る	（ なつとう ）	①7 永久に残る	（ えいきゆう ）
②春分の 彼岸	（ ひがん ）	①8 山を 越 える	（ こ える ）
③レンズを 研磨 する	（ けんま ）	①9 歌謡曲が流れる	（ かようきよく ）
④ 環境 を整える	（ かんきよう ）	②0 名前の 由来	（ ゆらい ）
⑤ 黄砂 が降る	（ こうさ ）	②1 古事記の神話	（ こじき ）
⑥ 清掃 用具	（ せいそう ）	②2 日本書紀の編纂 <small>（へんさん）</small>	（ にほんしょき ）
⑦話し合いの 仲介	（ ちゅうかい ）	②3 万葉集の歌	（ まんようしゆう ）
⑧ 朗読 を録音する	（ ろうどく ）	②4 方丈記の一節	（ ほうじょうき ）
⑨丘の 頂	（ いただき ）	②5 物語の 貴公子	（ きこうし ）
⑩ 不思議 な事	（ ふしぎ ）	②6 苦悩 に満ちた表情	（ くのう ）
⑪牛馬の 放牧場	（ ほうぼくじよう ）	②7 ユーモアと 皮肉	（ ひにく ）
⑫山が 紅葉 する	（ こうよう ）	②8 俳句 を詠む <small>（よむ）</small>	（ はいく ）
⑬雲の 絶 え間	（ た え ）	②9 仮名遣いに注意する	（ かなづか い ）
⑭月の影を 眺 める	（ まが める ）	③0 舌先 三寸	（ さんずん ）
⑮言葉の 調子	（ ちょうし ）	③1 伝説の 理想郷	（ りそうきよう ）
⑯ 誰 かの忘れ物	（ だれ ）	③2 子供を 授 かる	（ さず かる ）

漢字に親しもう3 大阿蘇 蓬萊の玉の枝「竹取物語」から
 新出漢字とその他の教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① はっこう食品 () 発酵 ()	② ダンスをひろうする () 披露 ()	③ まさつを少なくする () 摩擦 ()	④ 学びを社会にかんげんする () 還元 ()	⑤ こうてい的な意見 () 肯定 ()	⑥ イラストをそうにゆうする () 挿入 ()	⑦ ばいしん制度 () 陪審 ()	⑧ 情報ばいたいの発達 () 媒体 ()	⑨ 広いちゆうしや場 () 駐車 ()	⑩ 細く白いけむり () 煙 ()	⑪ 阿蘇山のふんえん () 噴煙 ()	⑫ おかの頂上 () 丘 ()	⑬ 竹のつつの花入れ () 筒 ()	⑭ 手紙のぼうとう () 冒頭 ()	⑮ 買い物かご () 籠 ()	⑯ 一人前のむすめになる () 娘 ()
⑰ 大豆からなつとうを作る () 納豆 ()	⑱ 春分のひがん () 彼岸 ()	⑲ レンズをけんまする () 研磨 ()	⑳ かんきようを整える () 環境 ()	㉑ こうさが降る () 黄砂 ()	㉒ せいそう用具 () 清掃 ()	㉓ 話し合いのちゆうかい () 仲介 ()	㉔ ろうどくを録音する () 朗読 ()	㉕ 丘のいただき () 頂 ()	㉖ ふしぎな事 () 不思議 ()	㉗ 牛馬のほうぼくじよう () 放牧場 ()	㉘ 山がこうようする () 紅葉 ()	㉙ 雲のたえ間 () 絶え ()	㉚ 月の影をながめる () 眺める ()	㉛ 言葉のちようし () 調子 ()	㉜ だれかの忘れ物 () 誰 ()

漢字に親しもう3 大阿蘇 蓬萊の玉の枝「竹取物語」から
教科書に登場する漢字の書きの続き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① えいきゆうに残る (永久)	□ 書状をひけんする (披見)
② 山をこえる (越える)	□ 優勝旗をへんかんする (返還)
③ かようきよくが流れる (歌謡曲)	□ さし木で増やす (挿し)
④ 名前のゆらい (由来)	□ 近くのちゅうざいしよ (駐在所)
⑤ こじきの神話 (古事記)	□ はつえんとうで知らせる (発煙筒)
⑥ にほんしよきの編纂 (日本書紀)	□ 目の前がけむい (煙い)
⑦ まんようしゆうの歌 (万葉集)	□ 水蒸気がふく (噴く)
⑧ ほうじようきの一節 (方丈記)	□ 観光でさきゆうに訪れる (砂丘)
⑨ 物語のきこうし (貴公子)	□ すいとうを持っていく (水筒)
⑩ くのうに満ちた表情 (苦惱)	□ 危険をおかす (冒す)
⑪ ユーモアとひにく (皮肉)	□ 部屋にこもる (籠る)
⑫ はいくを詠む (俳句)	()
⑬ かなづかいに注意する (仮名遣い)	()
⑭ 舌先さんずん (三寸)	()
⑮ 伝説のりそうきよう (理想郷)	()
⑯ 子供をささずかる (授かる)	()